

服部晶夫先生のご逝去を悼む

古田 幹雄 (数理科学研究科幾何学専攻 教授)

本学名誉教授、服部晶夫先生は2013年8月25日に逝去されました。享年84歳でした。服部先生は1959年に理学博士(東京大学数物系研究科)の学位ご取得後、本学で教鞭をとられ、1990年にご退官後も、新設の明治大学理工学部数学科にご招聘され、研究教育を続けられました。1966年から2年間、エール大学とジョンズ・ホプキンス大学に客員教授として滞在され、1989年から2年間は日本数学会理事長を務められました。

服部先生は、日本のトポロジーの発展と共に歩まれた方であったと思います。幾何学、とくに多様体のトポロジーと変換群論を中心に仕事をされ、先生のお名前を冠して Hattori-Stong の定理とよばれる定理「特性数の整除性は指数公式によってすべて得られる」は現在では古典的定理のひとつといえます。幾何学分野ではわが国で開催された最初の大きな国際シンポジウ

ムとして、Manifolds Tokyo1973 は良く知られており、服部先生が編集された会議の論文集は、今なお大きな存在感をもっています。幾何学関係の教科書を3冊書いておられ、中でも「位相幾何学」のタイトルの、基礎から堅牢に構築され、オリジナルの議論が要所を支えている530ページのご著書には、この分野を志す学生が長年お世話になってきました。日本数学会編集の数学辞典が、現代数学の近年の加速的発展と共に情報デジタル化の波への対処を迫られた時期に、2007年発行第4版の編集委員長の大役も果たされました。

ウェブの無かった時代に、ご自身の目に留まった最新のアイディアの詰まった海外の論文を、学生であったわれわれに示して下さいときの「これは面白いよ」との声は今も耳に残っています。気さくで飄々としたお人柄でどなたからも敬愛されていました。



■ 故・服部晶夫先生 (2006年サブライズの喜寿のお祝い)

服部先生はしばらく闘病生活を送っておられましたが、最後のご論文は、去る2013年8月12日に arXiv に投稿された単著のプレプリントでした。最後まで数学の徒として範を示され、周りの多くの人々を力強く励まし続けてくださった方でした。ご冥福を心よりお祈りいたします。

永田豊先生のご逝去を悼んで

日比谷 紀之 (地球惑星科学専攻 教授)

本学名誉教授、永田豊先生は、2013年8月28日に急逝されました。享年79歳でした。

永田先生は、1956年に本学理学部物理学科をご卒業後、同大学院地球物理学専門課程へと進まれ、1961年に理学部助手、1964年には理学博士の学位を授与され、1965年に同講師、1970年に同助教授、1980年に同教授に就任されました。海洋波浪、海洋微細構造、海洋フロント構造の研究をはじめ、多岐にわたる研究活動を展開されるとともに、多くの学生を育成し、大学関係だけでなく、気象庁・水路部・水産庁などに送り出されました。この間、学内委員はもとより、日本海洋学会副会長、日本学術会議海洋物理学研究連絡会委員長、世界海洋循環研究計画(WOCE)の国際科学推進委員会委員、北太平洋における海洋科学に関する国際機関(PICES)の海洋物理学・気候科学委員会委員長など、国内外の要

職を歴任されました。これらのご功績により、1999年に日本海洋学会宇田賞を受賞されています。

永田先生の思い出は尽きません。独特のウィットに富んだ海洋物理学の講義、気さくなお人柄とは対照的に、海洋物理を専門とする大学院生には、曖昧な発表を容赦ない質問を通じて叱責されるなど厳しい指導をされていました。私は直接に先生のご指導を受けることはなかったのですが、セミナー発表、学会発表、学位論文など、サイエンスに厳しい永田先生の存在があったからこそ大いに鍛えられたと思っています。また、先生はとくに野球がお好きで、理学部ソフトボール大会の学部生チームに飛び入りされ、やや太めのお体に似合わず鮮やかなグラブさばきでわれわれを驚嘆させたこともありました。

70歳を迎えられて後は、一転、絵画教室に入られ、同僚の方々と展覧会を開催するなど、多芸の先生らしい生活を



■ 故・永田 豊先生

送っていらっしゃいました。亡くなる3日ほど前に先生から「9月中旬に入院して心臓の手術をするが、今週開催する展覧会には顔を出します」とのメールをいただいたばかりでした。突然すぎる永遠のお別れに言葉もありません。

永田先生からいただいたご厚情に改めて感謝するとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

2013 東京大学ホームカミングデイ 10月19日（土）開催

広報委員会

理学部では、ホームカミングデイを「ファミリーデイ」と位置付けし、卒業生の皆様をはじめ、卒業生のお子様やお孫さんを対象とした家族で体験できるイベントを企画致しました。当日は小柴ホールにて講演会やクイズ大会、また小柴ホール前ホワイエにて実験コーナーを開設します。詳細につきましては理学部ホームページをご覧ください。

<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/event/homecoming/2013.html>

皆様のご参加をお待ちしております。



ホームカミングデイ2013
ポスター

- 【日 時】 2013年10月19日（土）13:00～17:00
 【会 場】 東京大学本郷キャンパス理学部1号館2階小柴ホール
 【参 加】 小柴ホール講演会は、事前参加申込みが必要となります。
 定員になり次第、〆切とさせていただきます。
 【主 催】 東京大学大学院理学系研究科・理学部

「第28回理学系研究科技術部シンポジウム」開催

技術部

理学系研究科・理学部技術部では、本年度も「技術部シンポジウム」を下記のとおり開催します。今回は本郷地区での開催となります。ぜひご参加ください。詳細は、技術部ホームページ (<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/s-tech/sympo/sympo.html>) をご参照ください。

- <特別講演> 「超低温の獲得と量子物質の世界」 福山 寛（物理学専攻 教授）
 <技術発表（口頭）> 4題 <技術発表（ポスター）> 6題

- 【日 時】 2013年11月22日（金）13:00～17:05 【問い合わせ先】
 【会 場】 本郷キャンパス理学部化学本館5階講堂 技術部シンポジウム実行委員会 栗栖 03-5841-4528
 【参加費】 無料

第24回東京大学理学部公開講演会のお知らせ

広報委員会

理学の魅力をお伝えし、その価値を皆様と共有するため、理学部では春と秋の年2回公開講演会を行い、理学部10学科の中から、教員が魅力あるテーマをご紹介します。

第24回目となる今回の講演会では、火山噴火の考察、結婚についての理学的アプローチ、宇宙論研究の現在という3つの全く異なる切り口から、それぞれの深遠な理学の姿をわかりやすくご紹介致します。ぜひご来場ください。

- 「どうして同じ火山がいろいろな噴火をするの？」 並木 敦子（地球惑星科学専攻 助教）
 「結婚の理学」 井原 泰雄（生物科学専攻 講師）
 「宇宙暗黒の時代ーすべては星から生まれたー」 吉田 直紀（物理学専攻 教授）

- 【日 時】 2013年11月24日（日）14:00～17:00 【定 員】 700名（当日先着順）
 【場 所】 東京大学本郷キャンパス法文2号館法学部第31番教室 【中 継】 インターネット配信を予定
 【入 場】 無料 【主 催】 東京大学大学院理学系研究科・理学部

人事異動報告

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2013.7.15	生化	助教	久保田浩行	辞職	特任准教授へ
2013.7.15	生化	特任助教	柚木 克之	辞職	助教へ
2013.7.16	生化	特任准教授	久保田浩行	採用	助教から
2013.7.16	生化	助教	柚木 克之	採用	特任助教から
2013.7.16	生科	特任助教	宮澤 真一	任命	特任研究員から
2013.8.1	地惑	助教	西田 圭佑	採用	
2013.8.1	生科	特任助教	中村 瑛海	採用	特任研究員から
2013.8.15	ビックバン	助教	樽家 篤史	辞職	京都大学基礎物理学研究所・准教授へ
2013.8.16	生科	准教授	入江 直樹	採用	
2013.8.16	物理	助教	大栗 真宗	採用	

あとながき

理学系研究科・理学部ニュース9月号の発行に至りほっとしています。ここ何年、夏になると「今年の夏は希に見る猛暑」と言う報道がくりかえされています。地球温暖化を信じてはいないのですが、8月に調査で東南アジアの空港に降り立つと意外と暑くないことにホッと、帰国すると東京の「猛暑」にうんざりしました。例年「猛暑」の頃、編

集委員会が開かれニュース9月号の最終案が決まります。今年は開催日の夕刻、都合のつく編集関係者で上野に暑気払いに繰り出し、(私だけかも知れませんが)楽しい語らいの一時を過ごしました。職務が違ったり、分野が違ったりする人たちと話をすると色々刺激を受けます。このニュース冊子も、手にする方々の刺激になると良いと思っ

ています。本号に掲載されている理学エッセイと温故知新は、本学の歴史と伝統を垣間見せてくれる記事で、「変えること」「守ること」の難しさと大切さを考えさせてくれました。編集委員会では理学系研究科・理学部ニュースがより魅力的になるよう頭をひねっています。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

石田 貴文(生物科学専攻 教授)

東京大学理学系研究科・理学部ニュース 第45巻3号 ISSN 2187-3070

発行日：2013年9月20日

発行：東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

編集：理学系研究科広報委員会所属 広報誌編集委員会

rigaku-news@adm.s.u-tokyo.ac.jp

横山 央明(地球惑星科学専攻、編集委員長)

石田 貴文(生物科学専攻)

對比地孝亘(地球惑星科学専攻)

福村 知昭(化学専攻)

牧島 一夫(物理学専攻)

横山 広美(広報室)

國定 聡子(総務チーム)

宇根 真(情報システムチーム)

武田加奈子(広報室)

印刷：三鈴印刷株式会社

本ニュースはインターネットでもご覧になれます。

東京大学 理学部ニュース

検索

